

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

46回生 総合的な探究の時間 「わがまちのSDGs」 全体発表会

1月31日(火)6・7限、本校体育館において、総合的な探究の時間に半年間にわたって取り組んだ活動「わがまちのSDGs」の全体発表会を行いました。

SDGsの持続可能な17の目標のうち教師が設定した8つのテーマの中から一つを生徒が選択し、それぞれのテーマに4〜5名のグループを作り、約半年間に渡る探究活動を行いました。

年末までは各班で準備を重ね、1月24日と27日にテーマ別発表(予選)を行いました。そこで選ばれた8つの班が全体発表をしました。西播磨県民局県民交流室室長の久野洋貴様講演をしていただいた相生湾自然再生学習会議の松村晋策様、相生(おお)の港町を継続させる会の渡部政弘氏を来賓に招き質疑や助言、講評をいただきました。

クラスの枠を超えた班編成により、話をすることがないもの同士がコミュニケーションをとることから始まりました。回を重ねること

により次第に打ち解け、仲間意識が生まれてきました。自由にアイデアを出し合い、よりよい発表になるように知恵を絞りました。そして本番。各

テーマごとの発表、さらに学年全員の前の発表など緊張を強いられる経験をすることによって、他の経験では得られない自信を身につけられたのではないかと思います。

司会進行やビデオ撮影などの仕事を生徒が行うなど、生徒主体の発表会となりました。協力していただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。



審査員の方々の講評を聞く生徒



最優秀班のスライド

大学別ガイダンス

3月1日(水)、1・2年生を対象に大学別ガイダンスを行いました。生徒たちは50の大学・専門学校に分かれ、大学の説明を受けました。生徒は希望する大学の説明を真剣に聞いており、進路決定の参考になりました。



45回生 小論文研修会

3月2日(木)4限、小論文研修会を行いました。年間2万枚以上の小論文を添削なさっている、株式会社ONACの講師朝日さんに講義して頂きました。「小論文を書く力」は「自分の意見を分かりやすく伝える力」であり、大学入試はもちろん、大学での研究や、就職時、そして社会に出てからも必要とされるものであると、小論文の必要性を学びました。また、「小論文の出題は社会問題である」ということで、日頃から「読むこと」

「知ること」「考えること」「書くこと」が重要であると学びました。普段の学校生活ではあまり書く機会のない小論文ですが、今回の講義で理解が深まったことと思います。

岡山大学研究室訪問

3月2日(木)、インスパイア・ハイスクール事業の一環として、岡山大学工学部環境・社会基盤系の研究室を訪問しました。参加したのは、1・2年生自然科学コースの希望者13名です。

まず最初に全体会として、工学部の歴史についてや改組に至った経緯、教育理念についての講義を受けました。その後、各研究室に分かれて、研究体験をさせていただきました。フィールド情報利用学分野、水資源管理学分野、環境保全分野、物質循環学分野の4研究室です。もちろん内容は専門的で、簡単に理解できるようなものではありませんが、大学の研究室の雰囲気



囲気や、答えのない問いに対して決策を探し続けるといった情熱、意欲を感じる事ができました。また、現役学生さんとの懇談会では、大学の授業のこと、サークル活動のこと、下宿生活のことなど、気になっていたりすることをなんでも気軽に聞くことができ、参加した生徒は非常に満足し、大学生活というものに大きな希望と期待を抱いた様子でした。



ありがとうございました！

相高の風景

